



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ウイン・パートナーズ株式会社

コード番号 3183 URL <http://www.win-partners.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋沢 英海

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松本 啓二 TEL 03-3548-0790

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,883	△15.9	830	△43.0	837	△42.5	572	△45.3
2020年3月期第2四半期	33,144	4.0	1,458	14.3	1,455	14.3	1,047	16.8

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 593百万円（△43.4%） 2020年3月期第2四半期 1,048百万円（17.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	19.95	ー
2020年3月期第2四半期	36.48	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	36,471	20,151	55.3	701.94
2020年3月期	38,632	20,505	53.1	714.27

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 20,151百万円 2020年3月期 20,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	0.00	ー	33.00	33.00
2021年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2021年3月期（予想）	ー	ー	ー	34.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	△8.6	2,000	△24.5	2,000	△24.7	1,370	△26.8	47.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	30,503,310株	2020年3月期	30,503,310株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,795,073株	2020年3月期	1,795,073株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	28,708,237株	2020年3月期2Q	28,708,237株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じつつ、経済活動の再開が段階的に進められているものの、依然として景気の先行きは非常に厳しい状況となっております。

医療業界におきましては、増加し続ける医療費を背景に医療制度改革が実施されており、効率的で質の高い医療提供体制の構築等が進められております。診療報酬改定は2年に1回の頻度で見直しが行われている中、2019年10月の消費税増税時の改定に続き、半年後である2020年4月においても改定が実施されました。これにより、特定保険医療材料の償還価格が改定され、当社グループの主力商品であるステントやPTCAバルーンカテーテル、ペースメーカー等の販売価格が下落しております。

医療機関におきましては、制度改革の影響を背景に引き続き経営の合理化・効率化に向けた取り組みが行われております。その最中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、来院患者数の減少や手術件数の減少、感染防止対策費用の増加等が重なり、医療機関の経営に多大な影響を及ぼしております。そのため、納入業者に対する値下げ要請や大学系列病院・グループ系列病院等における商品集約化・価格統一化の動きは、ますます強まるものと予想されます。

当社グループといたしましては、顧客の課題解決に向けた付加価値の高い提案を行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、緊急性の低い待機的手術の延期や医療施設への来院患者数の減少等が当第1四半期累計期間からは回復傾向にあるものの、引き続き影響を受けております。また、前第1四半期連結累計期間にあった大手グループ病院との取引が消失し、販売数量が減少したこと等により、売上高は27,883,394千円(前年同四半期比15.9%減)、経常利益は837,181千円(前年同四半期比42.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は572,825千円(前年同四半期比45.3%減)となりました。

分類別の経営成績は以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
虚血性心疾患関連	9,849,024	29.7	7,514,270	26.9	△2,334,754	△23.7
心臓律動管理関連	8,944,541	27.0	7,834,694	28.1	△1,109,846	△12.4
心臓血管外科関連	4,669,907	14.1	4,029,583	14.5	△640,324	△13.7
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	3,111,069	9.4	2,897,019	10.4	△214,050	△6.9
大型医療機器関連	1,996,270	6.0	1,194,122	4.3	△802,147	△40.2
その他	4,573,896	13.8	4,413,704	15.8	△160,191	△3.5
合計	33,144,710	100.0	27,883,394	100.0	△5,261,315	△15.9

主な分類別の取扱商品は以下のとおりであります。

分類	取扱商品
虚血性心疾患関連	当社グループの主要商品群であり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性心疾患の治療に使用されるカテーテル等の医療機器であります。これらの医療機器を使用した治療は、患者の身体に対する負担が少ないことから、「低侵襲医療」と呼ばれております。 <薬剤溶出型ステント(DES)、PTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテル等>
心臓律動管理関連	不整脈の治療に使用される医療機器であります。 <ペースメーカー、植込型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込型除細動器(CRTD)、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等>
心臓血管外科関連	心臓疾患を治療するための外科手術の際に使用される医療機器であります。 <ステントグラフト、経カテーテル生体弁、人工血管、人工心肺等>
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	末梢血管や脳血管の疾患を治療するために使用される医療機器であります。 <PTAバルーンカテーテル、末梢血管用ステント、塞栓用コイル等>
大型医療機器関連	放射線科や手術室等で使用される医療機器であります。 <X線血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MRI)、麻酔器等>
その他	上記以外の医療機器等であります。 <インスリンポンプ、持続血糖測定器、血圧トランスデューサーセット、血圧モニター用チューブ等>

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べ2,161,380千円減少し、36,471,513千円となりました。これは、現金及び預金が1,632,786千円、受取手形及び売掛金が1,472,793千円それぞれ減少した一方、有形固定資産が1,062,379千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,807,365千円減少し、16,319,973千円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,240,691千円、電子記録債務が316,701千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ354,014千円減少し、20,151,540千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益により572,825千円増加した一方、前期の配当金の支払により947,371千円減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、10,862,850千円となりました。

(現金及び預金の四半期末残高)

現金及び現金同等物	10,862,850千円
預入期間が3か月を超える定期預金	5,000,000千円
現金及び預金の四半期末残高	15,862,850千円
(連結貸借対照表の現金及び預金)	

主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が837,181千円、売上債権の減少が1,336,909千円あった一方、仕入債務の減少が1,557,393千円、法人税等の支払が367,598千円あったこと等により508,564千円の収入(前年同四半期は2,144,531千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が1,125,686千円あったこと等により1,193,979千円の支出(前年同四半期は16,024千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金の支払が947,371千円あったことにより947,371千円の支出(前年同四半期は918,663千円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年8月11日の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,495,637	15,862,850
受取手形及び売掛金	13,532,423	12,059,630
電子記録債権	1,133,620	1,269,504
商品	2,571,116	2,368,449
その他	780,954	654,774
貸倒引当金	△13,761	△259
流動資産合計	35,499,993	32,214,950
固定資産		
有形固定資産	2,181,286	3,243,666
無形固定資産	114,654	151,774
投資その他の資産	836,958	861,122
固定資産合計	3,132,900	4,256,563
資産合計	38,632,893	36,471,513
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,946,724	12,706,032
電子記録債務	1,953,053	1,636,351
未払法人税等	435,887	293,883
賞与引当金	348,540	293,707
その他	414,042	313,801
流動負債合計	17,098,247	15,243,776
固定負債		
退職給付に係る負債	1,027,091	1,074,197
その他	2,000	2,000
固定負債合計	1,029,091	1,076,197
負債合計	18,127,338	16,319,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,000	550,000
資本剰余金	2,272,369	2,272,369
利益剰余金	18,239,213	17,864,666
自己株式	△538,066	△538,066
株主資本合計	20,523,515	20,148,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,445	37,807
退職給付に係る調整累計額	△37,406	△35,236
その他の包括利益累計額合計	△17,960	2,571
純資産合計	20,505,555	20,151,540
負債純資産合計	38,632,893	36,471,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	33,144,710	27,883,394
売上原価	28,934,426	24,438,818
売上総利益	4,210,283	3,444,576
販売費及び一般管理費	2,751,669	2,613,788
営業利益	1,458,613	830,788
営業外収益		
受取利息	637	637
受取配当金	5	5
不動産賃貸料	1,005	1,004
その他	4,630	4,787
営業外収益合計	6,278	6,435
営業外費用		
たな卸資産処分損	6,673	—
その他	2,231	41
営業外費用合計	8,904	41
経常利益	1,455,987	837,181
特別利益		
固定資産売却益	681	—
匿名組合投資利益	82,117	—
特別利益合計	82,798	—
税金等調整前四半期純利益	1,538,786	837,181
法人税等	491,608	264,356
四半期純利益	1,047,177	572,825
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,047,177	572,825

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,047,177	572,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	18,361
退職給付に係る調整額	1,295	2,169
その他の包括利益合計	1,301	20,531
四半期包括利益	1,048,479	593,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,048,479	593,356

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,538,786	837,181
減価償却費	94,532	94,861
売上債権の増減額(△は増加)	3,214,812	1,336,909
たな卸資産の増減額(△は増加)	129,664	203,454
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,282,988	△1,557,393
その他	△37,211	△39,493
小計	2,657,595	875,520
法人税等の支払額	△513,717	△367,598
その他	652	641
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,144,531	508,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△65,864	△1,125,686
その他	49,840	△68,293
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,024	△1,193,979
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△918,663	△947,371
財務活動によるキャッシュ・フロー	△918,663	△947,371
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,209,843	△1,632,786
現金及び現金同等物の期首残高	10,289,600	12,495,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,499,444	10,862,850

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。